

放課後等デイサービス自己評価表（職員向け）
発達みかんの木



		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	2	0	
	②	利用人数に対して職員の配置数は適切であるか	8	0	2	・決められた人員数は配置されているがイベントや利用児童によってはスタッフ数をもっといれればと思うことはあるため、イベントによって適切な人員配置に努めていきたい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	7	3	・静エリアの入り口に段差があり、動エリアは車イスが利用できるトイレのスペースはあるがフロアクッションであり自走は難しい。 ・段差などもあるし、特定の子には動きにくいと思う。 →が逆にそれが身体機能の向上にも繋がっていると考える。 ・段差などは、ジョイントマットを敷き、つまづきやけがの防止に努めている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	1	0	・日々のワークのふり返りと月に一度事業所内で支援会議を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	10	0	0	・今回初めてのアンケートの実施であるため今後改善につなげたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やHP等で公開しているか	8	2	0	・あそびの森の事業所は今回初めてのアンケートの実施であるが、同法人の事業所と同様にホームページでの公開を予定している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	10	・行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	2	0	・運営部から研修の案内が送られてきている。しかしコロナウイルスの影響があり、ここ最近は事業所内で研修したのみ。
適切な	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	0	0	・保護者の意見を聞いたうえでやっている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1	2	・運動については回数などを設定することやSSTについても記録を残すことでアセスメントが取りやすいようにはしているが標準化されたものではないのかも。 JSI-Rについては標準化されたものである。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	0	0	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	0	

支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10	0	0	・個々のスケジュールを用意するとともに、個々に対して課題作成をしている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	0	0	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	2	0	・開始前に、エリアの担当やイベントの担当を決めている。今後も支援がスムーズに行えるように、事前の打ち合わせを大切にしていきたい。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	2	1	・終了後は常勤スタッフのみであるため次の日にパートさんたちには共有するようにするとともに、グループLINEを使用している。 ・常勤や残っているパートさんとは話せるが、全員で話す機会、共有に努める

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	0	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	1	0	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8	2	0	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精進した最もふさわしい者が参画しているか	8	2	0	・自発管と可能であれば担当が行っている。
関係機関や保護者との連携関係機	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8	2	0	・抜けがないようにダブルチェックを心がけているが、それでも抜けがあることもあるため、日々気をつけるようにしている。 ・学校との情報共有も増えてはきているが、すべての児童ではない。親を介しての情報共有である。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	7	1	・現在対象児童はいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	4	2	・利用前に話を聞いている。ただ全員に対して行えているわけではない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	7	0	・まだ対象児童はいない。

関 や 保 護 者 と の 連 携	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2	2	
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	7	0	・定期的にはないが、児童館を利用させてもらうイベント時に交流の機会はある。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	5	・協議会で決まったことを放デイ事業所の集まりで確認する。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	0	・送迎時に様子を伝えているとともに連絡帳やLINEを使用している。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	7	2	・日常における子育てでの困りごとなどの相談があった時には、アイデア等を伝えさせてもらっている。
	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0	0	
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	0	・日常における子育てでの困りごとなどの相談があった時には、アイデア等を伝えさせてもらっている。

保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	3	7	・以前は勉強会開催時に保護者同士の交流をもてる時間がありましたが、コロナウィルスの影響等もあり現在勉強会の予定が未定となっている。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1	0	・まずは苦情がないように、何かあれば迅速かつ適切に対応できるように努めたい。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1	1	・会報などはない。日々の様子はLINEで発信している。
	③5	個人情報に十分注意しているか	8	2	0	・ワークが違う家庭に入っていたり、荷物の入れ間違いがあったため、今後も気を付けていきたい。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	1	0	・コミュニケーションカードを作成したり、紙に書くなどして伝えている。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	4	6	

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1	2	・マニュアルはあるが周知はできていないところもあるため、周知に努める。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	0	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	2	0	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	3	2	・説明はしているが計画への記載はできていない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	6	2	・保護者からアレルギーの有無を確認しているが、指示書はない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	1	0	・共有の場や文書等で共有できている。